令和元年度

学校評価のまとめ　－福島市立平野中学校－

【評価点】「そう思う」(4点)，「だいたいそう思う」(3点)，「あまりそう思わない」(2点)，「そう思わない」(1点)で点数化
【平均値】　３．２５以上：Ａ／２．５以上～３．２５未満：Ｂ／１．７５以上～２．５未満：Ｃ／１．７５未満：Ｄ

実践目標	大	自己評価の項目	総合評価	小	自己評価の観点	観点評価		外部評価 保護者	外部評価 生徒	学校関係者評価	具体的成果（○），課題（●），改善策・要望等（※） 教職員自己評価の自由記述	学校関係者評価の自由記述
学校運営の基本姿勢	1	教育目標（敬愛　自学　忍耐）の達成に向けて，組織的に取り組んでいる。	A 3.43	1-1 1-2 1-3	「報告・連携・相談」の原則 チーム学校による取組 校務分掌の積極的推進	3.52 3.38 3.38	A A A	B 3.17		A 3.63	○進路指導の工夫した取組と連携の充実 ○ＰＴＡとの連携や協力 ○学年及び学年外の教師との連携 ○各種大会やコンテストの参加 ○地域に結びついた学習活動 ●研究授業の実践が不十分 ●校歌の声が不十分 ●校外での研修が不十分 ●一人ひとりに目を向けた取組の充実 ●生徒への意識付けの工夫	○中学校がワンチームとして活動していると思う。 ○各学年特色を生かした学年経営ができていると感じる。 ●評価項目によって実態が分からない。
	2	平野中生としての誇りを胸に，将来の夢実現を目指し，諸活動に取り組ませている。	A 3.28	2-1 2-2 2-3	誇りをもった校歌斉唱 個に応じた進路指導の工夫 大会参加等代表としての自覚	2.70 3.50 3.65	B A A	B 3.14	B 3.10	A 3.63		
	3	保護者や地域のからの理解と協力が得られるよう，積極的に働きかけている。	A 3.38	3-1 3-2 3-3	保護者の理解と協力 地域の理解と協力 ＰＴＡ，地域行事への参加	3.43 3.43 3.29	A A A	B 3.20		A 3.78		
	4	教育のプロとして，日々指導力の向上に向け，意欲的に研修を行っている。	B 3.08	4-1 4-2 4-3	カウンセリングマインドの向上 自己研修テーマへの取組 各種研修への参加	3.14 3.14 2.95	B B B	B 3.08		A 3.25		
思いやりの心をもち相手のよさに学ぶ生徒	5	あいさつ，清掃活動等集団生活の基本を身に付けさせ，好ましい集団・仲間づくりに努めている。	A 3.51	5-1 5-2 5-3	元気なあいさつの励行 清掃活動の充実 身だしなみと言葉遣いの指導	3.57 3.52 3.43	A A A	B 3.20	A 3.40	A 3.78	○基本的生活習慣の指導の取組 ○学級の雰囲気が良く意見交換が充実 ○あいさつの向上 ○職業観の醸成 ○３年間の見通しをもった学習活動 ●あいさつはまだ不十分 ●道徳の授業の質的充実と評価の研修 ●地域人材の活用が不十分 ●生徒同士のつながりの希薄化 ●学年により地域と結びついた活動に差	○多くの先生方が受容的な生徒指導に努力している。 ●生徒に覇気が感じられない。
	6	自立・ふれあい・生き方指導に重点を置いたキャリア教育を推進している。	A 3.32	6-1 6-2 6-3	３年間を見通した推進 地域の教育力の活用 自己有用感を育む指導の工夫	3.55 3.20 3.20	A B B	B 3.16	A 3.46	A 3.50		
	7	地域や様々な学校，関係機関等，外部の人々との交流を推進している。	A 3.25	7-1 7-2 7-3	外部講師の積極的な導入 地域体験活動の導入 福祉施設等外部機関との交流	3.00 3.43 3.33	B A A	B 3.17		A 3.50		
	8	自己を見つめさせる道徳教育に前向きに取り組んでいる。	B 2.96	8-1 8-2 8-3	授業の完全実施と資料の開発 自己指導能力の育成 教科化に向けての評価の研修	3.00 2.95 2.95	B B B	B 3.08	B 3.08	B 3.14		
自ら進んで勉強する生徒	9	生徒一人ひとりの状況を的確に把握し，分かりやすく工夫した授業をしている。	A 3.43	9-1 9-2 9-3	わかる授業のための教材研究 基礎基本の確実な定着 各種コンテストへの取組	3.45 3.40 3.45	A A A	B 2.84	A 3.26	A 3.29	○学習の約束事の徹底 ○ＩＣＴを活用した授業の展開 ○学習課題や自主学習への取組 ○二者による学習相談の実施 ○制作についての取組 ●授業における必然性のある学習課題の設定 ●ＡＴＬよる授業の充実 ●基礎学力コンテストの取組が不十分 ●学校図書館の利用が不十分 ●家庭学習の充実につながる教科課題が不十分 ●ＩＣＴ機器導入が不十分 ●ＩＣＴ機器の導入に伴う研修の必要性	○生徒と先生方が自然体で受け答えしている姿に日頃の授業の充実を感じる。 ○先生方が真摯に取り組み、分かりやすい授業をしている。 ※学力の実態について小学校の保護者に聞いてもらう機会があってもよい。 ※今の教育の仕方や教材の利用などが遅れないようにしてほしい。
	10	アクティブ・ラーニングやＩＣＴを活用した授業を実践する。	A 3.32	10-1 10-2 10-3	言語活動の充実 主体的，対話的な時間の確保 振り返りの時間の工夫	3.30 3.20 3.45	A B A	B 2.93	A 3.31	A 3.33		
	11	学習の約束事や好ましい学習習慣を確立し，授業に集中できるよう指導している。	A 3.36	11-1 11-2 11-3	学習の約束事の徹底 規則正しい生活習慣の確立 自主学習ノートの質の向上	3.55 3.32 3.21	A A B	B 2.93	B 3.14	A 3.57		
	12	豊かな読書活動推進のため，前向きの取り組んでいる。	A 3.27	12-1 12-2 12-3	朝の１０分間読書の取組 図書館の積極的活用推進 読書啓発活動の推進	3.50 3.10 3.20	A B B	B 2.99		A 3.50		
進んで困難にとりくみ最後まで頑張る生徒	13	健康の保持増進のため，実践力の向上に努めている。	A 3.41	13-1 13-2 13-3	早寝・早起き・朝ご飯の啓発 授業，部活動での体力向上 係，委員会活動の充実	3.38 3.29 3.57	A A A	B 2.94	B 3.06	A 3.43	○不登校生徒の情報共有と連携した対応 ○いじめアンケート結果への即時対応 ○生活の記録の活用 ●地域との交流が不十分 ●全体としては困難を避ける傾向 ●教育相談が不十分 ●スマホやSNSの利用を含めた生活習慣の向上 ●精神的にたくましい生徒の育成	●不登校生徒の人数や学校の対応方法が保護者にはわからない。 ※部活動での保護者会の「ありかた」を検討してほしい。 ※学期に１回は生徒指導に関する小中の情報交換があるとよい。 ※先生方の努力だけでなく、保護者の理解と協力が必要である。 ※働き方改革の波が学校現場にきている。一部の教員に負担がかからない対応策が求められる。（部活動指導も）
	14	不登校生徒とその保護者への支援に努めている。	A 3.43	14-1 14-2 14-3	「チームひらの」としての対応 保護者に寄り添う柔軟な対応 新たな不登校を出さない取組	3.38 3.65 3.25	A A A	B 2.92		A 3.43		
	15	いじめや問題行動の未然防止と早期解決，再発防止に努めている。	A 3.55	15-1 15-2 15-3	早期発見，早期対応，早期解決 規範意識を高めるための指導 状況に応じた教育相談の工夫	3.80 3.60 3.25	A A A	B 2.91	A 3.38	A 3.57		
	16	保健・安全指導の充実に努めている。	B 3.14	16-1 16-2 16-3	生活習慣病予防に関する取組 食に対する指導の充実 危機回避能力の育成	3.10 3.29 3.05	B A B	B 3.10	A 3.39	A 3.43		
開かれた学校・連携	17	地域の特色や地域の教育力生かした教育活動をしている。	B 3.19	17-1 17-2 17-3	積極的に地域を学ぶ姿勢 地域人材の積極的活用 各種団体や関係機関との連携	3.19 3.14 3.24	B B B	B 3.16	A 3.31	A 3.38	○学年だよりの毎週の発行と内容の工夫 ○地域の方の理解と協力 ○果樹栽培を通した地域学習の充実 ○大笹生支援学校との充実した交流 ●小中連接協議会の各部会内容の改善 ●幼・保との連携の具体化 ●学年だより以外の情報発信が不十分 ●ＨＰの活用の充実	●ホームページの更新がみられない。 ※小中連接で具体的な生徒と児童の活動を前期にもつことができるとよい。 ※平野地区は安心・安全な地域作りを目指しているので、地区教育全体の連携を一層高めてほしい。 ※災害や事故等に伴う緊急連絡について、小学校と連携してメール配信できないか。 ※県・東北・全国大会出場の掲示板を立てられると生徒の励みになる。
	18	各種たより（学校・学年・学級・保健・進路等），ホームページ等で有効な情報を提供している。	A 3.41	18-1 18-2 18-3	学校・学年だよりによる提供 ＨＰによる情報発信 緊急メール配信の活用	3.57 3.00 3.67	A B A	A 3.29		A 3.63		
	19	学校評価の結果を分析，公表し，次年度の教育計画等に生かしている。	A 3.43	19-1 19-2 19-3	アンケートの実施と分析 結果の公表 次年度教育計画への反映	3.45 3.60 3.25	A A A	B 3.08		A 3.75		
	20	小・中の連接並びに中・高の積極的な連携推進に努めている。	A 3.43	20-1 20-2 20-3	平野小と「子どもを繋ぐ」取組 平野小と「学びを繋ぐ」取組 高校や支援学校との連携	3.67 3.43 3.19	A A B	B 3.24		A 3.50		

高評価 ⇦ ＜評価メーター＞ ⇨ 低評価（※次年度の重点努力事項）